

伊賀市 事務事業評価シート

経常的事務事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
897		開発指導経費	01		一般会計
			08		土木費
基本施策	27	秩序ある中にもぎわいのある都市空間をつくる	項	04	都市計画費
			目	01	都市計画総務費
担当部課名		建設部 都市計画課	細目	101	事務管理経費
作成者氏名	直居 量行	連絡先	細々目	03	開発指導経費
		22-9826			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為者を対象に開発審査会を開催 開発に関する都市計画上の指導・・・不特定多数の人 	適正な開発行為の指導ができるとともに、上位計画としてのまちづくり方針へ誘導することが可能となる。
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 開発審査会の開催・・・11件 開発関係指導・・・通年 	
根拠法令・要綱等	都市計画法、伊賀市開発指導要綱	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1.5	1.5	1.5
	人件費合計(A)	10,800	10,800	10,800
②支出内訳(千円)	事業費(B)	45,999	83,784	12,000
	委託料	500	1,500	
	償還金	32,506	72,086	
	積立金	12,993	10,198	12,000
	その他			
合計(A+B)		56,799	94,584	22,800
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担	12,993	10,198	10,000
	その他特財			
一般財源		43,806	84,386	12,800
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
開発審査会	回	11	12	12			
開発指導業務		通年	通年	通年			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
開発行為の審査	開発行為は毎年変動するので、景気上昇を加味した件数を指標とした。	件	11 目標 ()	12	12
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

景気回復傾向にある中、問い合わせが多数ある中で、適正な判断を必要とするが、無理強いされる面も多くあることから、今後は景観法を視野に入れた取組を考えていく必要あり。

評価	有効性	4	適正な指導に努めるも、一方では開発行為断念による納付金の返還も起こっている。	総合評価
	達成度	3		A
	効率性	3		